



みやかわ

桜島の降灰で輝きを失った車をどのタイミングで洗車しようか、と考えている方も多いのではないのでしょうか。今年の夏は、克灰袋にずいぶんお世話になりそうです。学校では、降灰による影響が非常に大きい場所があります。それは、プールです。既に始まっている水泳学習ですが、灰でひどく汚れた水で学習を進めるわけにはいきません。かといって、一度水を入れ替えると多額の費用がかかってしまうので、限られた回数での入れ替えしかできません。そこで活躍するのが「プールクリーナー」です。簡単に言うと、プール用の掃除機です。プールの底に溜まった灰を、周辺の水ごと吸い込み、外に吐き出す仕組みになっています。便利な道具があるので助かっているのですが、係の職員は大変です。子どもたちが登校して学習が始まる前までに、プールにつかりながら時間をかけて作業しなくてはならないのです。あれだけ広いプールですし、水中であることもあり、掃除機をかける時間は非常に長くなります。先日も、朝の6時30分から職員数人が、まだ冷たい水につかりながらプールの灰を取り除いていました。どうか降灰が少なくなりますようにと祈るしかありません。

さて、梅雨入り宣言が発表されました。今年の雨量はどれほどになるのでしょうか。毎年、日本のどこかで大きな災害が起きてしまいます。新聞やテレビなどの報道で見るたびに、自然の恐ろしさを感じてしまいます。今年こそは早めの避難や対策で、大きな被害がない梅雨になることを祈ります。また、この時期は、車の運転にも注意が必要です。雨で見通しが悪かったり、傘を差した子どもたちの視界が狭まったりと、いつもより危険度が増します。子どもたちには、雨の日の過ごし方について、交通安全も含めて指導していきますが、私たち大人の車の運転にも気を付けていきましょう。

なかよし

6年生の作品

赤いかさが二つ / ならんでいく
ひそひそとなにか / 話しながら
足が / 一人のように / そろっている

灰谷健次郎 編 続子どもの詩が生まれた より

新潟県で起きた児童殺傷事件では、改めて登下校中の児童の安全確保の難しさを感じさせられました。登校時は、全児童が同じ時間帯に通学路を通るため比較的安全であるのですが、下校時は学年によって時間割が違うため、一斉に下校というわけにはいきません。そこで、地域の方々へのお願いです。時間の都合がつく範囲で、児童の下校時刻に合わせて散歩をしたり、庭作業をしたりしていただければ、子どもたちも安心して下校できます。可能な範囲での御協力をお願いします。